

令和6年度園友会役員会

令和6年6月3日に園友会役員会が開催され、令和5年度事業報告決算が承認されました。今後も更なる組織強化と地域活動の充実化を図るため、新たに理事に丹治直哉氏が選出されました。

園友会 運営体制 (令和6年度)		
顧問	吉岡棟憲	(再任)
会長兼事務局長	丹治庄衛	(再任)
副会長	箭内一典	(再任)
理事	丹治孝男	(再任)
理事	丹治直哉	(新任)
監事	丹治敏子	(再任)
監事	星千重子	(再任)
事務局	齋藤秀紀	(再任)

令和5年度 事業報告					
1	新会員の開拓活動(退会7名)				
2	会報活動(令和5年6月・12月)				
3	令和5年度支援事業 福島民報社 オレンジリボン運動 広告協賛				
4	食農体験活動 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>畑作</td> <td>じゃがいも、さつまいも</td> </tr> <tr> <td>収穫祭</td> <td>見合わせ</td> </tr> </table>	畑作	じゃがいも、さつまいも	収穫祭	見合わせ
畑作	じゃがいも、さつまいも				
収穫祭	見合わせ				
5	第9回チャリティゴルフコンペ (令和5年10月26日)				

令和5年度 事業活動収支決算書	
(自令和5年4月1日 至令和6年3月31日)	
(単位:円)	
勘定科目	金額
収入	
会費収入	728,108
寄付金・その他の収入	286,337
事業活動収入計(1)	1,014,445
支出	
事務費	103,996
事業費(支援活動費)	535,043
繰入金	600,000
事業活動支出計(2)	1,239,039
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 224,594
前期繰越活動増減差額	488,381
当期繰越活動増減差額	263,787

令和6年度 事業計画	
4月	食農体験活動準備開始
6月	役員会
7月	食農体験活動 院友発行
10月	食農体験活動 チャリティゴルフコンペ
2月	院友発行
随時	社会体験活動サポート

■ 会員様へご協力をお願い ■

福島愛育園の更なる発展のために皆さまのご協力をお願いいたします。

個人会員
103,000円以上

団体会員
105,000円以上

※所得税上の寄付金控除対象になりませんのでご理解いただきますようお願いいたします。

第10回福島愛育園チャリティゴルフコンペ

主催 福島愛育園園友会・福島ゴルフ倶楽部 民報コース
日時 令和6年10月25日(金) 8時30分スタート予定
会場 福島ゴルフ倶楽部 民報コース
申込み先 福島ゴルフ倶楽部 民報コース フロント

※詳細はお問合せください。 TEL 024-549-0244 FAX 024-549-1711

競技方法

- ・18ホールズ ストロークプレー・新々ペリア方式
- ・ジェネラルエリア6インチプレー可
- ・アトラクション
- ドラコン 5番 12番
- ニアピン 2番 8番 13番 17番
- ・チャリティホール アウト1番 イン10番

たくさんのご参加
お待ちしております!



【食農体験活動】じゃがいもを植えました（あすなる保育園）

4月18日、あすなる保育園の園児たちがじゃがいも植え体験に来てくれました。土いじりの機会が減ってしまった子どもたちにとって貴重な体験になったと思います。「おおきくなってね」と優しく土のお布団をかけてあげた子どもたちでした。



【園内クラブ活動】お茶会を開催しました（福島愛育園）

コロナ禍の3年間お休みしていた福島愛育園の茶道クラブのお稽古を9月に再開することができました。裏千家淡交会福島青年部様にご協力いただきながら、現在は高校生2名が意欲的に活動しています。3月に、園の職員と子どもたちを招いてお茶会を開催しました。小学校3年生から茶道クラブに入っている高校生が、釜を使用したお点前を披露してくれました。



晏子物語

園友会員の永山正英様が来園され自費出版された「晏子物語」をご寄贈いただきました。幼少期から中国文学に興味を持ちそんな中「晏子」の人柄や考え方を伝えたいと思い、自分なりに解釈を加えて出筆したとの事です。

永山様の好きな中国の故事に「愚行、山を移す」があり、愚公という老人が、家の裏にそびえる大きな山を削って平らにし、山の向こう側に行ける道を作ろうとしていたそうです。周囲の人々は、そんなことは絶対無理だから、馬鹿な真似は止めるように言って笑いますが、愚公はこう言います。「山を削るのは私ができなくても、その子、孫、さらにはその子、と引き継いでいけば(何百年か後には)必ず平らに出来る。山自体は高くなってこないだろうから」という中国的なものの見方を表す話として、ご紹介されておりました。

現代は社会環境は目まぐるしく変化しており、長期的視点とはいえ、永続的な価値観でどの程度考えているだろうと感じました。ご寄贈いただいた「晏子物語」をより知っていただくため、会員様限定で貸出ししたいと思います。ご希望の方は事務局までお申し出ください。



社会体験活動サポート事業



令和6年度より社会体験サポート事業として、プロトランペッターNobyさんのコンサートの参加費用の支援を行います。

Nobyさんは東日本大震災において被災した方々に対して、一日も早い復興を願い、音楽を通して心のケアを行うため、それまでの仕事を退職して、プロのトランペッターになり、特定非営利活動法人Nobyトランペット復興プロジェクトも設立して様々な活動を行っております。

5月にコンサートに参加しましたが、Nobyさんの迫力ある演奏と参加者が一体となって楽しく作り上げるコンサートは、とても印象に残りました。一緒に参加した職員は心が洗われるような感覚とスコップ三味線はとても楽しい時間だったと話しておりました。

社会体験活動サポート事業は、「Nobyのサマーフェスティバル」から参加予定です。参加者それぞれがNobyさんの音楽を通じて、思い出深い社会体験になればと思います。

Nobyさんのコンサートなど詳しい情報は、公式ホームページ(<https://www.fuzzy-navel.net/>)を参照してください。